

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1039
				2017/12/21
調整後保管日時		2017年12月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				
エリアX直接持込み。 時間厳守で持込み下さい。				

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H4タンクエリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/21	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICWBL-288	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	土砂類(砕石)	B	04	W	A	16 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	β有 70 μSv/h
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	28 μSv/h	エリアW1	2017/12/25 8:00	10 m ³		OK-0060	1
	1	2	10m3コンテナ	25 μSv/h	30 μSv/h	35 μSv/h	エリアW1	2017/12/25 8:00	10 m ³		OK-0061	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4タンクエリア						2017/12/21	2017/12/21	2017/12/21	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/21	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-288	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	土砂類(碎石)	B	04	W	A	16 m ³	4 μSv/h	4 μSv/h	β有	70 μSv/h
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1040
				2017/12/21
調整後保管日時		2017年12月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				
エリアX直接持込み。 時間厳守で持込み下さい。				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	28 μSv/h	エリアW1	2017/12/25 9:00	10 m ³		OK-0241	1
	1	2	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW1	2017/12/25 9:00	10 m ³		OK-0057	1
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1041
				2017/12/21
調整後保管日時		2017年12月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				
エリアX直接持込み。 時間厳守で持込み下さい。				

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事							
	発生場所	H4タンクエリア							
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2017/12/20		測定者			測定器名	ICW	
							管理番号	F1-ICWBL-133	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③					$\beta + \gamma$ 線量率
	1	土砂類	B	04	W	A	16 m ³	4 mSv/h	4 mSv/h
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	エリアW1	2017/12/25 10:00	10 m ³		OK-0049	1
	1	2	10m3コンテナ	25 μ Sv/h	30 μ Sv/h	40 μ Sv/h	エリアW1	2017/12/25 10:00	10 m ³		A0181	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木						
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4タンクエリア						2017/12/21	2017/12/21	2017/12/21	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-133	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	土砂類		B	04	W	A	16 m ³	4 μ Sv/h	4 μ Sv/h	β 有	200 μ Sv/h
2							m ³				
3							m ³				
4							m ³				
5							m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1042
				2017/12/21
調整後保管日時		2017年12月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				
エリアX直接持込み。 時間厳守で持込み下さい。				

線量測定内容				
測定日	2017年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	エリアW1	2017/12/25 11:00	10 m ³		OK-0016	1
	1	2	10m3コンテナ	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	エリアW1	2017/12/25 11:00	10 m ³		A0051	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1043
				2017/12/21
調整後保管日時		2017年12月25日		12:00
【保管時の指示事項等】				
エリアX直接持込み。 時間厳守で持込み下さい。				

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H4タンクエリア				2017/12/21	2017/12/21	2017/12/21		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICWBL-133		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無 β 有	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	土砂類			B 04 W A	16 m ³	4 μ Sv/h	4 μ Sv/h	200 μ Sv/h	
	2					m ³				
	3					m ³				
4					m ³					
5					m ³					

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	エリアW1	2017/12/25 12:00	10 m ³			1
	1	2	10m3コンテナ	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	25 μ Sv/h	エリアW1	2017/12/25 12:00	10 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	仮)Bエリアタンク基礎他除却(設置含む)									
	発生場所	B北エリア						2017/11/17	2017/11/17	2017/11/17	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/14	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	FI-ICWBL-49	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	アスガラ		B	09	D	B	36 m ³	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2							m ³			
	3							m ³			
4							m ³				
5							m ³				
9m3×4回											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1050
				2017/11/17
調整後保管日時		2017年12月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				
当日の持込み予定回数、時間(又は中止)の連絡を確実に行って下さい。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	仮)Bエリアタンク基礎他除却(設置含む)								
	発生場所	B北エリア						2017/11/17	2017/11/17	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/11/14	測定者			測定器名	βγ用電離箱			
						管理番号	FI-ICWBL-49			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	アスガラ			① B ② 09 ③ D B	36 m³	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2					m³				
3					m³					
4					m³					
5					m³					
メモ	9m3×4回									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1051
				2017/11/17
調整後保管日時		2017年12月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				
当日の持込み予定回数、時間(又は中止)の連絡を確実に行って下さい。 日時調整しています。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m³			
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0024		固体廃棄物管理G記入欄		受付																																																																																																													
作業主管理G記入欄	保管希望日時		2017年12月26日		(火)		8:00		承認		審査		作成		受付番号																																																																																																												
	作業件名		H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																																																																																																																								
	発生場所		H3						2017/12/22		2017/12/22		2017/12/22		2017/12/25																																																																																																												
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員		TEL																																																																																																																		
	元請会社						担当者		TEL																																																																																																																		
	線量測定年月日		2017/12/19		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		T-ICWBL-04																																																																																																												
	No.		保管物名		※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率																																																																																																												
	1		切削粉		B 02 D A		5.8 m³		0.005 mSv/h		0.1 mSv/h		β 有		0.05 mSv/h																																																																																																												
	2		金属ガラ		B 01 D B		1.6 m³		0.005 mSv/h		0.08 mSv/h		β 有		0.11 mSv/h																																																																																																												
	3		不燃物		B 10 D B		3.5 m³		0.005 mSv/h		0.05 mSv/h		β 有		0.1 mSv/h																																																																																																												
4		ゴム等難燃物		C 01 D B		5 m³		0.005 mSv/h		0.1 mSv/h		β 有		0.11 mSv/h																																																																																																													
5						m³																																																																																																																					
【線量測定結果反映】コンテナ2基(No.1,2)																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2017年12月26日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td>F1-ICWBL-105</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																線量測定内容				測定日	2017年12月26日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICWBL	F1-ICWBL-105	2				3				4																																																																																			
線量測定内容																																																																																																																											
測定日	2017年12月26日																																																																																																																										
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																								
1		ICWBL	F1-ICWBL-105																																																																																																																								
2																																																																																																																											
3																																																																																																																											
4																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保管実績記入欄</th> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">枝番</th> <th rowspan="2">保管物名</th> <th colspan="2">測定場所 雰囲気線量率</th> <th colspan="2">表面線量率</th> <th colspan="2">β + γ 線量率</th> <th rowspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">保管日時</th> <th colspan="2">物 量</th> <th rowspan="2">再利用/ 減容可否</th> <th rowspan="2">コンテナNo.</th> <th rowspan="2">測定No.</th> </tr> <tr> <th>25 μSv/h</th> <th>25 μSv/h</th> <th>25 μSv/h</th> <th>28 μSv/h</th> <th>10 m³</th> <th>10 m³</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>10m3コンテナ</td> <td>25 μSv/h</td> <td>25 μSv/h</td> <td>25 μSv/h</td> <td>28 μSv/h</td> <td>25 μSv/h</td> <td>28 μSv/h</td> <td>エリアW1</td> <td>2017/12/26 8:00</td> <td>10 m³</td> <td></td> <td></td> <td>A0014</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>10m3コンテナ</td> <td>25 μSv/h</td> <td>25 μSv/h</td> <td>25 μSv/h</td> <td>28 μSv/h</td> <td>25 μSv/h</td> <td>28 μSv/h</td> <td>エリアW1</td> <td>2017/12/26 8:00</td> <td>10 m³</td> <td></td> <td></td> <td>B0055</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	28 μSv/h	10 m³	10 m³		1	1	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	28 μSv/h	25 μSv/h	28 μSv/h	エリアW1	2017/12/26 8:00	10 m³			A0014	1		1	2	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	28 μSv/h	25 μSv/h	28 μSv/h	エリアW1	2017/12/26 8:00	10 m³			B0055	1													m³																	m³																	m³				
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.					測定No.																																																																																																							
				25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	28 μSv/h	10 m³	10 m³																																																																																																																		
	1	1	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	28 μSv/h	25 μSv/h	28 μSv/h	エリアW1	2017/12/26 8:00	10 m³			A0014	1																																																																																																											
	1	2	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	28 μSv/h	25 μSv/h	28 μSv/h	エリアW1	2017/12/26 8:00	10 m³			B0055	1																																																																																																											
												m³																																																																																																															
												m³																																																																																																															
												m³																																																																																																															
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																											
上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納																																																																																																																											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類 · 伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄

受付

受付番号

廢2017	—	12	—	1092
-------	---	----	---	------

2017/12/25

調整後保管日時	2017年12月26日	9:00
---------	-------------	------

【保管時の指示事項等】

線量測定内容

2017年12月26日

測定No.	氏名	測定器	管理番号
-------	----	-----	------

1	ICWBL	F1-ICWBL-105
---	-------	--------------

2			
---	--	--	--

3			
---	--	--	--

4			
---	--	--	--

物 量	再利用／	リサイクル率	測定法
-----	------	--------	-----

防 重	減容可否	二重 / NO.	測定 NO.
-----	------	----------	--------

0:00	10	m³	C0024	1
------	----	----	-------	---

0:00	10	m	OK-0295	1
------	----	---	---------	---

		m		
--	--	---	--	--

		m		

		m		
--	--	---	--	--

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

×	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納
---	-------------------------

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										
	発生場所	H4N						2017/12/22	2017/12/22	2017/12/22		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
線量測定年月日	2017/12/13	測定者				測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③								
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	7 m ³	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	4 mSv/h	
	2	難燃シート類	C	02	D	A	10 m ³	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β 有	20 mSv/h	
3	ポリウレタ	C	04	D	A	1 m ³	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.015 mSv/h		
4	砕石	B	04	D	A	1 m ³	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.25 mSv/h		
5	ゴム	C	01	D	A	1 m ³	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	0.3 mSv/h		
メ モ	【線量測定結果反映】コンテナ2基(No.44,45)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1093
				2017/12/25
調整後保管日時		2017年12月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW1	2017/12/26 10:00	10 m ³		OK-0248	1
	1	2	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2017/12/26 10:00	10 m ³		OK-0034	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納
--------	-------------------------

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業主 管 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	11:00		承認	審査	作成									
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事																
	発生場所	H4N				2017/12/22	2017/12/22	2017/12/22										
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL									
	元請会社					担当者			TEL									
	線量測定年月日	2017/12/20		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77							
G	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
						①	②	③										
	1	コンクリートガラ				B	02	D	A	10	m ³	0.002	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	4	mSv/h
	2	鋼製堰				B	01	D	A	1	m ³	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.015	mSv/h
	3	難燃シート類(トンパック)				C	02	D	A	5	m ³	0.002	mSv/h	0.6	mSv/h	β 有	20	mSv/h
	4	碎石				B	04	D	A	2	m ³	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.25	mSv/h
5	ゴム				C	01	D	A	1	m ³	0.002	mSv/h	0.006	mSv/h	β 有	0.3	mSv/h	
メ モ	【線量測定結果反映】コンテナ2基(No.54,55)																	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1094
				2017/12/25
調整後保管日時		2017年12月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	25 μ Sv/h	30 μ Sv/h	30 μ Sv/h	エリアW1	2017/12/26 11:00	10 m ³		A0004	1
	1	2	10m3コンテナ	25 μ Sv/h	30 μ Sv/h	35 μ Sv/h	エリアW1	2017/12/26 11:00	10 m ³		OK-0291	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0024

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	12:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H3エリア						2017/12/22	2017/12/22		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/19	測定者			測定器名	ICWBL				
						管理番号	T-ICWBL-04				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	切削粉	B	02	D	A	6.6 m ³	0.005 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
	2	金属ガラ	B	01	D	B	1.4 m ³	0.005 mSv/h	0.08 mSv/h	β 有	0.11 mSv/h
3	可燃ごみ	A	04	D	B	7.5 m ³	0.008 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h	
4						m ³					
5						m ³					
メモ	【線量測定結果反映】コンテナ2基(No.3,4)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1095
				2017/12/25
調整後保管日時		2017年12月26日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW1	2017/12/26 12:00	10 m ³		G0009	1
	1	2	10m3コンテナ	25 μSv/h	40 μSv/h	50 μSv/h	エリアW1	2017/12/26 12:00	10 m ³		A0025	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納
----	-------------------------

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0006

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1225
				2017/11/30
調整後保管日時		2017年12月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	濃縮処理水タンクエリア他PE管設置工事ならびに同関連除却工事									
	発生場所	C2エリア近傍						2017/11/29	2017/11/29	2017/11/29	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員					
	元請会社					担当者					
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-6	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	保温材	B	06	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

線量測定内容				
測定日	2017年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/25 11:45	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0006		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	濃縮処理水タンクエリア他PE管設置工事ならびに同関連除却工事										
	発生場所	C2エリア近傍						2017/11/29	2017/11/29	2017/11/29		
	作業主管G	処理設備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-6		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	保温材		B	06	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2							m ²				
	3							m ²				
4							m ²					
5							m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2017	—	12	—	1226	2017/11/30
調整後保管日時		2017年12月26日			10:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ③	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2017/12/26 10:50	5 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カ テ ゴ リ	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	② 状 態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013704 - 0006

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	濃縮処理水タンクエリア他PE管設置工事ならびに同関連除却工事								
	発生場所	C2エリア近傍					2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19	
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-6	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	保温材	B	06	D	A	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2017	—	12	—	1227
				2017/12/19
調整後保管日時		2017年12月26日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ③	5 μSv/h	8 μSv/h		エリアC	2017/12/26 12:15	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0034

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1347
				2017/12/5
調整後保管日時		2017年12月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	1F-1～4号機H2エリアタンク設置							
	発生場所	H2エリア					2017/12/5	2017/12/5	2017/12/5
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL	
	元請会社				担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/12/1	測定者			測定器名	ICW		管理番号
							ICW-348		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
			①	②	③				β + γ 線量率
	1	金属ガラ	B	01	D	B	1 m ³	1 μSv/h	1 μSv/h
2	不燃物その他	B	10	D	B	1 m ³	1 μSv/h	1 μSv/h	無
3	機器類・制御盤類	B	03	D	B	0.5 m ³	1 μSv/h	1 μSv/h	無
4	ケーブル類	B	08	D	B	0.5 m ³	1 μSv/h	1 μSv/h	無
5	保温材	B	06	D	B	2 m ³	1 μSv/h	1 μSv/h	無
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2017/12/25 9:45	0.8 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0034

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1～4号機H2エリアタンク設置								
	発生場所	H2エリア						2017/12/5	2017/12/5	2017/12/5
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/1	測定者			測定器名	ICW		管理番号	ICW-348
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③						
1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m³	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
2						m³				
3						m³				
4						m³				
5						m³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1348
				2017/12/5
調整後保管日時		2017年12月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2017/12/26 8:30	2 m³			1
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0016

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1395
				2017/12/6
調整後保管日時		2017年12月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				
保管場所の都合で後日、持込み日時や量を調整させて頂く場合がありますのでご了承下さい。				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置										
	発生場所	土捨て場					2017/12/4	2017/11/30	2017/11/30			
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-72			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	ゼオライト入り保管庫			B	10	D	A	3.9 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	2											
	3											
4												
5												

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゼオライト入り保管庫 ③	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2017/12/25 9:30	3.9 m ³			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0016

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置								
	発生場所	土捨て場						2017/12/4	2017/11/30	2017/11/30
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-72
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	ゼオライト入り保管庫		B	10	D	A	3.9 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h
2							m ³			
3							m ³			
4							m ³			
5							m ³			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1396
				2017/12/6
調整後保管日時		2017年12月25日		10:30
【保管時の指示事項等】				
保管場所の都合で後日、持込み日時や量を調整させて頂く場合がありますのでご了承下さい。				

線量測定内容				
測定日	2017年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゼオライト入り保管庫 ③	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2017/12/25 10:30	3.9 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0016

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置								
	発生場所	土捨て場					2017/12/4	2017/11/30	2017/11/30	
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-72
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
1	ゼオライト入り保管庫				B 10 D A	3.9 m	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1397
				2017/12/6
調整後保管日時		2017年12月25日		12:30
【保管時の指示事項等】				
保管場所の都合で後日、持込み日時や量を調整させて頂く場合がありますのでご了承下さい。				

線量測定内容				
測定日	2017年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゼオライト入り保管庫 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/25 12:30	3.9 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	伐採木					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0016

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日	(火)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置									
	発生場所	土捨て場			2017/12/4	2017/11/30	2017/11/30				
	作業主管G	地下水対策グループ	監理員	TEL							
	元請会社		担当者	TEL							
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-72				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	ゼオライト入り保管庫	B	10	D	A	3.9 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1398
				2017/12/6
調整後保管日時		2017年12月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				
保管場所の都合で後日、持込み日時や量を調整させて頂く場合がありますのでご了承下さい。				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゼオライト入り保管庫 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/26 9:30	3.9 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013705 - 0016								
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2017年12月26日		(火)		10:30		承認		審査	作成						
	作業件名		地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置															
	発生場所		土捨て場							2017/12/4		2017/11/30		2017/11/30				
	作業主管G		地下水対策グループ							監理員		TEL						
	元請会社									担当者		TEL						
	線量測定年月日		2017/11/28		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-72			
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
	1		ゼオライト入り保管庫			B 10 D A			3.9 m ²		0.005 mSv/h		0.005 mSv/h		無			
	2								m ²									
	3								m ²									
4								m ²										
5								m ²										

固体廃棄物管理G記入欄										受付	
受 付 番 号											
廃2017		—		12		—		1399		2017/12/6	
調整後保管日時				2017年12月26日				10:30			
【保管時の指示事項等】											
保管場所の都合で後日、持込み日時や量を調整させて頂く場合がありますのでご了承下さい。											

線量測定内容									
測定日		2017年12月26日							
測定No.		氏名		測定器		管理番号			
1				ICWBL		F1-ICWBL-55			
2									
3									
4									

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゼオライト入り保管庫 ③	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2017/12/26 10:30	3.9	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③	履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0016

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	12:30	承認	審査	作成	
	作業件名	地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置							
	発生場所	土捨て場					2017/12/4	2017/11/30	2017/11/30
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	
						F1-ICWBL-72			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	ゼオライト入り保管庫			① B ② D ③ A	3.9 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2					m ²				
3					m ²				
4					m ²				
5					m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1400
				2017/12/6
調整後保管日時		2017年12月26日		12:30
【保管時の指示事項等】				
保管場所の都合で後日、持込み日時や量を調整させて頂く場合がありますのでご了承下さい。				

線量測定内容				
測定日	2017年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゼオライト入り保管庫 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/26 12:30	3.9 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0022

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H4北エリアタンク設置工事									
	発生場所	H4エリア北側(GN-25東)						2017/12/6	2017/12/6	2017/12/6	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/1	測定者			測定器名	ICW		管理番号	リ-ICW-162	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.2 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	4 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	可燃物 その他	A	04	D	B	0.7 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1408
				2017/12/6
調整後保管日時		2017年12月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/26 10:00	0.2 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/26 10:00	4 m ²			1
	3	1	可燃物 その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/26 10:00	0.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0025

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H4北エリア雨カバー設置									
	発生場所	H4エリア北側(GN-25東)						2017/12/6	2017/12/6	2017/12/6	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/1	測定者			測定器名	ICW		管理番号	リ-ICW-162	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.2 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	4 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	可燃物 その他	A	04	D	B	0.7 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1409
				2017/12/6
調整後保管日時		2017年12月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/26 10:00	0.4 m ²			1
	3	1	可燃物 その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/26 10:00	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	8:00		承認	審査	作成				
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事											
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2017/12/7	2017/12/6	2017/12/6			
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員	TEL						
	元請会社					担当者	TEL						
	線量測定年月日	2017/12/4	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364			
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	紙・ウエス類	A	01	W	B	1.5	m	7	μSv/h	7	μSv/h	無	
2	プラスチック・ホリ・ビニール類	A	02	W	B	1.5	m	7	μSv/h	7	μSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	W	B	1	m	7	μSv/h	7	μSv/h	無	
4	不燃物その他	B	10	W	B	0.5	m	7	μSv/h	7	μSv/h	無	
5	ゴム類	C	01	W	B	0.1	m	7	μSv/h	7	μSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1427
				2017/12/7
調整後保管日時		2017年12月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 8:00	2 m			2
	2	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 8:00	2 m			2
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 8:00	2.2 m			2
	4	1	不燃物その他 ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアG	2017/12/25 8:00	0.5 m			1
	5	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 8:00	0.1 m			2

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2017	—	12	—	1427

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事									
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2017/12/7	2017/12/6	2017/12/6	
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/4		測定者			測定器名	ICW(β)			
				測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	金属ガラ		B	01	W	B	5 m	7 μSv/h	7 μSv/h	無
	2							m			
3							m				
4							m				
5							m				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1428
				2017/12/7
調整後保管日時		2017年12月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑧	5 μSv/h	7 μSv/h		エリアC	2017/12/25 9:40	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
				D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事								
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2017/12/7	2017/12/6	2017/12/6
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/12/4	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	紙・ウェス類				① 01 W B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類				A 02 W B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
3	可燃物その他				A 04 W B	1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
4	不燃物その他				B 10 W B	0.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
5	ゴム類				C 01 W B	0.1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
注:	α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1429
				2017/12/7
調整後保管日時		2017年12月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/26 8:00	2.7 m ²			2
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/26 8:00	1.5 m ²			2
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/26 8:00	2.5 m ²			2
	4	1	不燃物その他 ③	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2017/12/26 8:10	0.5 m ²			1
	7	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/26 8:00	0.1 m ²			2

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②										
	6	難燃シート類	C	02	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	7	難燃物その他	C	04	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	8	塩化ビニール類	B	05	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	9	ケーブル類	B	08	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	10							m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2017	—	12	—	1429

[illegible]

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013204 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事								
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2017/12/7	2017/12/6	2017/12/6
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/4	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	木材類	A	03	W	B	5 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2017	—	12	—	1430	2017/12/7
調整後保管日時		2017年12月26日		9:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/26 9:40	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事									
	発生場所	共用プール建屋 1FL / 共用プール建屋 屋外 北側						2017/12/8	2017/12/8	2017/12/7	
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注1	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	難燃シート 他		C	02	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	エフレックス 他		C	04	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3							m ²			
4							m ²				
5							m ²				

注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。
 注1: ICW-154/F1-ICWBL-28

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1438
				2017/12/8
調整後保管日時		2017年12月25日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート 他	2 μ Sv/h	8 μ Sv/h		エリアO	2017/12/25 10:10	0.5 m ²			1
	2	1	エフレックス 他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/25 10:10	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012911 - 0001					
作業主	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	9:00		承認	審査	作成						
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カパー工事													
	発生場所	共用プール建屋 1FL / 共用プール建屋 屋外 北側					2017/12/8	2017/12/8	2017/12/7						
	作業主管G	設備電源グループ			監理員			TEL							
	元請会社				担当者			TEL							
管	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注1					
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
				①	②	③									
入	1	キムタオル,ダンボール 他		A	01	D	B	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2	ポリ袋 他		A	02	D	B	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	3	木材		A	03	D	B	1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	4								m ²						
	5								m ²						
欄	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 注1: ICW-154/F1-ICWBL-28														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1439
				2017/12/8
調整後保管日時		2017年12月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	キムタオル,ダンボール 他	2 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアO	2017/12/26 8:40	0.9 m ²			1
	2	1	ポリ袋 他	2 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアO	2017/12/26 8:40	2.1 m ²			1
	3	1	木材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/26 8:40	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	8:30	承認	審査	作成												
	作業件名	仮)Gエリアタンク基礎他設置並びに関連除却																		
	発生場所	G1エリア					2017/12/7	2017/12/7	2017/12/7											
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL														
	元請会社				担当者	TEL														
	線量測定年月日	2017/12/6	測定者			測定器名	ICWBL													
	管理番号					T-ICWBL-04														
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	可燃物	A						04	D	B	2	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
		2	プラスチック・ポリエステル	A						02	D	B	2	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
		3	紙・ダンボール・ウエス	A						01	D	B	1	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
		4	コンクリートガラ	B						02	D	B	5	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
5																				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1461
				2017/12/8
調整後保管日時		2017年12月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 8:50	3 m ³			2
	2	1	プラスチック・ポリエステル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 8:50	1.8 m ³			2
	3	1	紙・ダンボール・ウエス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 8:50	0.8 m ³			2
	4	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2017/12/25 8:35	2 m ³			1
	4	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2017/12/25 8:40	2 m ³			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1462
				2017/12/8
調整後保管日時		2017年12月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	仮)Gエリアタンク基礎他設置並びに関連除却									
	発生場所	G1エリア					2017/12/7	2017/12/7	2017/12/7		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/6	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	可燃物	A	04	D	B	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリエステル	A	02	D	B	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3	紙・ダンボール・ウエス	A	01	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
4	金属・不燃ゴミ	B	10	D	B	3 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
5						m ³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 11:05	5.2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		
				履 歴				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013201 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1470
				2017/12/11
調整後保管日時		2017年12月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	9:30		承認	審査	作成
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事							
	発生場所	第一地組ヤード							2017/12/11
	作業主管G	3号機建築グループ				監理員	TEL		2017/12/8
	元請会社					担当者	TEL		2017/12/8
	線量測定年月日	2017/12/5	測定者			測定器名	ICW		管理番号
							F1-ICW-361		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
		①	②	③					β + γ 線量率
	1	金属がら	B	01	D	B	10 m ³	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属がら ③	5 μSv/h	7 μSv/h		エリアC	2017/12/25 9:05	10 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0032

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1482
				2017/12/11
調整後保管日時		2017年12月25日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H5・6フランジタンクリリース関連工事								
	発生場所	G1エリア				2017/12/11	2017/12/11	2017/12/8		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者		測定器名	ICW(B)	管理番号	F1-ICWBL-83		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
			①	②	③					
	1	配管 5.0m	B	01	D	B	1 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	足場パイプ	B	01	D	B	1 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3	足場板	B	01	D	B	2 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m				
5						m				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	配管 5.0m ③	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2017/12/25 10:25	1 m			1
	2	1	足場パイプ ③	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2017/12/25 10:25	1 m			1
	3	1	足場板 ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2017/12/25 10:25	2 m			1
									m			
									m			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0032

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1483
				2017/12/11
調整後保管日時		2017年12月25日		12:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	12:30		承認	審査	作成			
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	G1エリア						2017/12/11	2017/12/11	2017/12/8		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICW(B)		管理番号	F1-ICWBL-83		
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	配管 5.0m		B	01	D	B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ソーラーパネル他機材		B	03	D	B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3							m ³				
4							m ³					
5							m ³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	配管 5.0m ②	5 μSv/h	8 μSv/h		エリアC	2017/12/25 12:20	1 m ³			1
	2	1	ソーラーパネル他機材 ②	5 μSv/h	8 μSv/h		エリアC	2017/12/25 12:20	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013704 - 0032

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	G1エリア						2017/12/11	2017/12/11	2017/12/8	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICW(B)		管理番号	F1-ICWBL-83	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③							
1	配管 5.0m	B	01	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
2	鋼材 3.0m	B	01	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
3	鋼管付PE管	B	10	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
4						m ²					
5						m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2017	—	12	—	1484
				2017/12/11
調整後保管日時		2017年12月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	配管 5.0m ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/26 10:05	1 m ²			1
	2	1	鋼材 3.0m ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/26 10:05	2 m ²			1
	3	1	鋼管付PE管 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/26 10:05	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0032

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	H5北タンクエリア						2017/12/11	2017/12/11	2017/12/8	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/11/20	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-130	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	不燃物(金属ガラ)			B	01	D	B	3 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2	不燃物(機器類、制御盤)			B	03	D	B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3								m ³			
4								m ³			
5								m ³			
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1485
				2017/12/11
調整後保管日時		2017年12月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0032

作業 主 管 欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	12:30		承認	審査	作成			
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	G1エリア						2017/12/11	2017/12/11	2017/12/8		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICW(B)		管理番号	F1-ICWBL-83		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	配管 5.0m			B	01	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	電源盤、水位計			B	03	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2017	—	12	—	1486
				2017/12/11
調整後保管日時		2017年12月26日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	電源盤、水位計 ②	5 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアC	2017/12/26 12:25	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1495
				2017/12/12
調整後保管日時		2017年12月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	H5タンクエリア							2017/12/12	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/11/13	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	コンクリートガラ			① B 02 ② D ③ A	16 m ³	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2					m ³				
	3					m ³				
4					m ³					
5					m ³					
不燃ダンプ3台同時搬入 溶接金網含む(可能な限り取り除いています)										

線量測定内容				
測定日	2017年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		コンクリートガラ①	5 μSv/h	8 μSv/h		エリアC	2017/12/25 9:10	5 m ³			1
1	2		コンクリートガラ①	5 μSv/h	8 μSv/h		エリアC	2017/12/25 9:15	5 m ³			1
1	3		コンクリートガラ①	5 μSv/h	7 μSv/h		エリアC	2017/12/25 9:20	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却										
	発生場所	H5タンクエリア					2017/12/12	2017/12/11	2017/12/11			
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/13		測定者			測定器名	ICW-BL				
							管理番号	1F-ICWBL-14				
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリートガラ			B	02	D	A	16 m ³	20 μSv/h	30 μSv/h	無
	2								m ³			
	3								m ³			
	4								m ³			
	5								m ³			
メモ	不燃ダンプ3台同時搬入 溶接金網含む(可能な限り取り除いています)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1496
				2017/12/12
調整後保管日時		2017年12月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	7 μSv/h		エリアC	2017/12/25 10:10	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1497
				2017/12/12
調整後保管日時		2017年12月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	仮)H6エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	H6タンクエリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	A	8 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
可燃										

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中上						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1498
				2017/12/12
調整後保管日時		2017年12月25日		12:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	H5タンクエリア				2017/12/12	2017/12/11	2017/12/11		
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2017/11/13	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無		
		①	②	③				β + γ 線量率		
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	16 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
不燃ダンプ3台同時搬入 溶接金網含む(可能な限り取り除いています)										

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1499
				2017/12/12
調整後保管日時		2017年12月25日		13:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	H5タンクエリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/13	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無		
		①	②	③				β + γ 線量率		
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	16 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
不燃ダンプ3台同時搬入 溶接金網含む(可能な限り取り除いています)										

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中上						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木										
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0010

作業主管理 G 記入欄 メモ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	H5タンクエリア				2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/13	測定者		測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	16 m ³	20 μSv/h	30 μSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
不燃ダンブ3台同時搬入 溶接金網含む(可能な限り取り除いています)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2017	—	12	—	1500
				2017/12/12
調整後保管日時		2017年12月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	7 μSv/h		エリアC	2017/12/26 8:45	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2017/12/26 8:50	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—		
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類		
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—		
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—		
		②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③	履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	H5タンクエリア						2017/12/12	2017/12/11	2017/12/11
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/11/13	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ			① B 02 ② D ③ A	16 m ³	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
	2					m ³				
	3					m ³				
4					m ³					
5					m ³					
メ モ	不燃ダンプ3台同時搬入 溶接金網含む(可能な限り取り除いています)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1501
				2017/12/12
調整後保管日時		2017年12月26日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h		エリアC	2017/12/26 11:30	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	H5タンクエリア						2017/12/12	2017/12/11	2017/12/11
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/11/13	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ			① B 02 ② D ③ A	18 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
4					m ²					
5					m ²					
メ モ	不燃ダンプ3台同時搬入 溶接金網含む(可能な限り取り除いています)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1502
				2017/12/12
調整後保管日時		2017年12月26日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中 止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1505
				2017/12/12
調整後保管日時		2017年12月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事								
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (G1-14 北側)						2017/12/12	2017/12/8	2017/12/8
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/8	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	刈り草	A	04	W	A	6 m ²	4 μSv/h	7 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	可燃									

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	刈り草	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 8:20	1.6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。